



Cisco Unity および Cisco Unity Bridge における推奨およびサポートされるサービス パックとアップデート

Revised August 21, 2006

このドキュメントに記載するサービス パックおよびアップデートは、Cisco Unity および Cisco Unity Bridge で推奨されるものです。

このドキュメントは次の 2 つのパートで構成されています。

- [パート 1 : Cisco Unity に対するサービス パックとアップデート \(P. 2 \)](#)
- [パート 2 : Cisco Unity Bridge に対するサービス パックとアップデート \(P. 13 \)](#)

Cisco Unity サーバまたは Bridge サーバにインストールされたサードパーティ製アプリケーションに対して最善のセキュリティを確保するため、バージョン 3.0(1) 以降を実行するすべての Cisco Unity サーバと、すべての Bridge サーバ (バージョンは問わない) に、該当する最新の推奨サービス パックおよびアップデートをインストールする必要があります。

Microsoft の製品およびセキュリティに関する詳細については、Microsoft TechNet Security Web サイトを参照してください。



(注) サービス パックおよびアップデートに関する Cisco Unity のサポート ポリシーについては、該当するバージョンの関連ドキュメントを参照してください。

- Cisco Unity 4.2 以降 : 『Cisco Unity でサポートされるハードウェアとソフトウェアおよびサポート ポリシー』
- Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) : 『Cisco Unity システム要件およびサポートされるハードウェア、ソフトウェア、サポート ポリシー』



(注) Cisco Unity Bridge は、日本ではサポートの対象外です。

パート 1 : Cisco Unity に対するサービス パックとアップデート

- [Cisco Unity に対する推奨サービス パック \(P. 2 \)](#)
- [Cisco Unity に対する推奨アップデート \(P. 4 \)](#)
- [Cisco Unity 4.0\(3\) 以前の再インストール \(P. 12 \)](#)
- [パート 2 : Cisco Unity Bridge に対するサービス パックとアップデート \(P. 13 \)](#)

Cisco Unity に対する推奨サービス パック

推奨サービス パックは、関連するコンポーネント ソフトウェアを Cisco Unity サーバにインストールする際にインストールしてください。この項にまだ記載されていない新しいサービス パックはサポート対象外であり、インストールすると Cisco Unity の機能性に影響を与えるため、インストールすべきではありません。



注意

Cisco Unity 4.0(3) 以前のバージョンを再インストールする場合は、Cisco Unity のインストールが完了してから推奨サービス パックをインストールしてください。詳細については、[P.12 の「Cisco Unity 4.0\(3\) 以前の再インストール」](#)を参照してください。

Microsoft の Web サイトでは、次の推奨サービス パックを入手できます。

- Microsoft Windows Server 2003 Service Pack 1



注意

Windows Server 2003 Service Pack 1 を Cisco Unity サーバおよびパートナー Exchange 2003 サーバにインストールする前に、Cisco Unity エンジニアリング スペシャルをインストールするか、最新バージョンの Cisco Unity Permissions ウィザードを実行する必要があります。詳細については、『*Windows 2003 SP 1 Causes Cisco Unity 4.0(4) and 4.0(5) to Lose Communication with Exchange 2003*』を参照してください。このテクニカル ノートは、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_tech_notes_list.html から入手できます。

- Microsoft Windows 2000 Server Service Pack 4
- Microsoft SQL Server 2000 Service Pack 4
- Microsoft MSDE 2000 Service Pack 4
- Microsoft Exchange Server 2003 Service Pack 2

Exchange または Exchange 管理ソフトウェアをアップデートするために、パートナー Exchange サーバ、Cisco Unity ユーザがホームとするすべての Exchange サーバ、およびすべての Cisco Unity サーバにサービス パックをインストールしてください。Cisco Unity フェールオーバー構成の場合、対象にはプライマリ サーバとセカンダリ サーバの両方が含まれます。

**注意**

Cisco Unity 4.0(3) を使用する場合は、Exchange Server 2003 Service Pack 1 以降をインストールする前に Cisco Unity Permissions ウィザードを実行する必要があることに注意してください。この作業を行わないと、Cisco Unity は正しく機能しません。Permissions ウィザードは、Cisco Unity 4.0(4) (DVD 1 および CD 1) に同梱されているバージョンを使用する必要があります。これと同じバージョンは、Cisco Unity Tools Web サイト (http://ciscounitytools.com/App_PW_403.htm) で公開されています。Cisco Unity Permissions ウィザードの実行方法については、Permissions ウィザードのヘルプを参照してください。

- Microsoft Exchange 2000 Server Service Pack 3

Exchange または Exchange 管理ソフトウェアをアップデートするために、パートナー Exchange サーバ、Cisco Unity ユーザがホームとするすべての Exchange サーバ、およびすべての Cisco Unity サーバにサービス パックをインストールしてください。Cisco Unity フェールオーバー構成の場合、対象にはプライマリ サーバとセカンダリ サーバの両方が含まれます。

- Microsoft Exchange Server 5.5 Service Pack 4

Exchange または Exchange 管理ソフトウェアをアップデートするために、パートナー Exchange サーバ、Cisco Unity ユーザがホームとするすべての Exchange サーバ、およびすべての Cisco Unity サーバにサービス パックをインストールしてください。Cisco Unity フェールオーバー構成の場合、対象にはプライマリ サーバとセカンダリ サーバの両方が含まれます。

- Microsoft Internet Explorer 6 Service Pack 1 (Windows 2000 バージョンの Internet Explorer 6 の場合)

**注意**

Cisco Unity 3.0(x) サーバに Internet Explorer 6 をインストールしないでください。インストールした場合、Cisco Unity は正しく機能しません。

- Microsoft Internet Explorer 5.5 Service Pack 2
- MSXML 3.0 Service Pack 1 (Cisco Unity バージョン 3.0(x) では推奨しません)

**(注)**

サービス パックおよびアップデートに関する Cisco Unity のサポート ポリシーについては、該当するバージョンの関連ドキュメントを参照してください。

- Cisco Unity 4.2 以降: 『Cisco Unity でサポートされるハードウェアとソフトウェアおよびサポートポリシー』
- Cisco Unity 4.1 および 4.0(x): 『Cisco Unity システム要件およびサポートされるハードウェア、ソフトウェア、サポートポリシー』

Cisco Unity に対する推奨アップデート

推奨アップデートは、関連するコンポーネント ソフトウェアを Cisco Unity サーバにインストールする際にインストールしてください。アップデートはすべて、Cisco Unity サーバに現在インストールされているサービス パックと互換性がある限り、リリースと同時にサポートされます。



注意

Cisco Unity 4.0(3) 以前のバージョンを再インストールする場合は、Cisco Unity のインストールが完了してから推奨アップデートをインストールしてください。詳細については、P.12 の「Cisco Unity 4.0(3) 以前の再インストール」を参照してください。

推奨アップデートを含むファイルは Microsoft Updates for Cisco Unity Software Download ページ (http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity_msft_updates) で入手できます。

アプリケーションおよびサービス パック別に、次の推奨アップデートがあります。

- 推奨される Windows Server 2003 Service Pack 1 アップデート (P. 4)
- 推奨される Windows 2000 Server Service Pack 4 アップデート (P. 6)
- 推奨される SQL Server 2000 Service Pack 4 アップデート：なし (P. 9)
- 推奨される MSDE 2000 Service Pack 4 アップデート：なし (P. 9)
- 推奨される Exchange Server 2003 Service Pack 2 アップデート (P. 9)
- 推奨される Exchange 2000 Server Service Pack 3 アップデート (P. 9)
- 推奨される Exchange Server 5.5 Service Pack 4 アップデート (P. 10)
- 推奨される Internet Explorer 6 for Windows Server 2003 Service Pack 1 アップデート (P. 11)
- 推奨される Internet Explorer 6 Service Pack 1 for Windows 2000 Server Service Pack 4 アップデート (P. 11)
- 推奨される Internet Explorer 5.5 Service Pack 2 アップデート (Cisco Unity 3.x のみ) (P. 12)



(注)

サービス パックおよびアップデートに関する Cisco Unity のサポート ポリシーについては、該当するバージョンの関連ドキュメントを参照してください。

- Cisco Unity 4.2 以降：『Cisco Unity でサポートされるハードウェアとソフトウェアおよびサポートポリシー』
- Cisco Unity 4.1 および 4.0(x)：『Cisco Unity システム要件およびサポートされるハードウェア、ソフトウェア、サポートポリシー』

推奨される Windows Server 2003 Service Pack 1 アップデート

すべての Cisco Unity サーバに Windows 2003 Service Pack 1 アップデートをインストールしてください。Cisco Unity フェールオーバー構成の場合、対象にはプライマリ サーバとセカンダリ サーバの両方が含まれます。

アップデートは Microsoft Updates for Cisco Unity Software Download ページ (http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity_msft_updates) で入手できます。

表 1 Windows 2003 SP 1 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合の推奨アップデート

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトルと Cisco Unity に対する影響
MS06-051、KB 917422	緊急	8/2006	Windows カーネルの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-050、KB 920670	重要	8/2006	Microsoft Windows ハイパーリンク オブジェクト ライブラリの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-046、KB 922616	緊急	8/2006	HTML ヘルプの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-045、KB 921398	重要	8/2006	Windows エクスプローラの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-043、KB 920214	緊急	8/2006	Microsoft Windows の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-041、KB 920683	緊急	8/2006	DNS 解決の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-040、KB 921883	緊急	8/2006	Server サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-036、KB 914388	緊急	7/2006	DHCP クライアント サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-035、KB 917159	緊急	7/2006	Server サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-034、KB 917537	重要	7/2006	Active Server Pages を使用した Microsoft Internet Information Services の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-033、KB 917283	重要	7/2006	ASP.NET の脆弱性により、情報漏えいが起こる
MS06-032、KB 917953	重要	6/2006	TCP/IP の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-030、KB 914389	重要	6/2006	サーバメッセージブロックの脆弱性により、特権が昇格される
MS06-025、KB 911280	緊急	6/2006	ルーティングとリモート アクセスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-024、KB 917734	緊急	6/2006	Windows Media Player の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-023、KB 917344	緊急	6/2006	Microsoft JScript の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-022、KB 918439	緊急	6/2006	ART の画像表示の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-016、KB 911567	重要	4/2006	Outlook Express 用の累積的なセキュリティ アップデート
MS06-015、KB 908531	重要	4/2006	Windows エクスプローラの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-014、KB 911562	緊急	4/2006	Microsoft Data Access Components (MDAC) の機能の脆弱性により、コードが実行される可能性がある
MS06-009、KB 901190	重要	2/2006	韓国語版 Input Method Editor の脆弱性により、特権が昇格される (韓国語版 Input Method Editor がインストールされている場合のみ必要)
MS06-008、KB 911927	重要	2/2006	Web Client サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-002、KB 908519	緊急	1/2006	埋め込み Web フォントの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-001、KB 912919	緊急	1/2006	Graphics Rendering Engine の脆弱性により、コードが実行される可能性がある
MS05-053、KB 896424	緊急	11/2005	Graphics Rendering Engine の脆弱性により、コードが実行される可能性がある

表 1 Windows 2003 SP 1 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合の推奨アップデート (続き)

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトルと Cisco Unity に対する影響
MS05-051、KB 902400	緊急	10/2005	MSDTC および COM+ の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-050、KB 904706	緊急	10/2005	DirectShow の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-049、KB 900725	重要	10/2005	Windows シェルの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-048、KB 907245	重要	10/2005	Microsoft Collaboration Data Objects の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-046、KB 899589	重要	10/2005	NetWare 用クライアント サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-045、KB 905414	警告	10/2005	ネットワーク接続マネージャの脆弱性により、サービス拒否が起こる
MS05-042、KB 899587	警告	8/2005	Kerberos の脆弱性により、サービス拒否、情報の漏えいおよびなりすましが行われる
MS05-041、KB 899591	警告	8/2005	リモート デスクトップ プロトコルの脆弱性により、サービス拒否が起こる
MS05-040、KB 893756	重要	8/2005	テレフォニー サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-039、KB 899588	緊急	8/2005	プラグアンドプレイの脆弱性により、リモートでコードが実行され、特権の昇格が行なわれる
MS05-036、KB 901214	緊急	7/2005	マイクロソフト カラー管理モジュールの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-032、KB 890046	警告	6/2005	Microsoft エージェントの脆弱性により、なりすましが行われる
MS05-026、KB 896358	緊急	6/2005	HTML ヘルプの脆弱性により、リモートでコードが実行される

推奨される Windows 2000 Server Service Pack 4 アップデート

すべての Cisco Unity サーバに Windows 2000 Service Pack 4 アップデートをインストールしてください。Cisco Unity フェールオーバー構成の場合、対象にはプライマリサーバとセカンダリサーバの両方が含まれます。

アップデートは Microsoft Updates for Cisco Unity Software Download ページ (http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity_msft_updates) で入手できます。

表 2 Windows 2000 SP 4 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合の推奨アップデート

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトルと Cisco Unity に対する影響
MS06-051、KB 917422	緊急	8/2006	Windows カーネルの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-050、KB 920670	重要	8/2006	Microsoft Windows ハイパーリンク オブジェクト ライブラリの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-049、KB 920958	重要	8/2006	Windows カーネルの脆弱性により、特権が昇格される
MS06-046、KB 922616	緊急	8/2006	HTML ヘルプの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-045、KB 921398	重要	8/2006	Windows エクスプローラの脆弱性により、リモートでコードが実行される


表2 Windows 2000 SP 4 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合の推奨アップデート (続き)

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトルと Cisco Unity に対する影響
MS06-044、KB 917008	緊急	8/2006	Microsoft 管理コンソールの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-041、KB 920683	緊急	8/2006	DNS 解決の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-040、KB 921883	緊急	8/2006	Server サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-004、KB 887219	重要	Re-released 8/2006	ASP.NET パス検証の脆弱性 (.NET Framework Service Pack 1 がインストールされているかどうかによって、バージョンが異なることに注意してください。このサービスパックがインストールされている場合は、次のレジストリキーが存在します。 HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Microsoft\Updates\NETFramework\1.1\S867460)
MS06-036、KB 914388	緊急	7/2006	DHCP クライアント サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-035、KB 917159	緊急	7/2006	Server サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-034、KB 917537	重要	7/2006	Active Server Pages を使用した Microsoft Internet Information Services の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-033、KB 917283	重要	7/2006	ASP.NET の脆弱性により、情報漏えいが起こる
MS06-032、KB 917953	重要	6/2006	TCP/IP の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-031、KB 917736	警告	6/2006	RPC の相互認証の脆弱性により、なりすましが行なわれる
MS06-030、KB 914389	重要	6/2006	サーバメッセージブロックの脆弱性により、特権が昇格される
MS06-025、KB 911280	緊急	6/2006	ルーティングとリモート アクセスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-023、KB 917344	緊急	6/2006	Microsoft JScript の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-018、KB 913580	警告	5/2006	Microsoft Distributed Transaction Coordinator の脆弱性により、サービス拒否が起こる
MS06-016、KB 911567	重要	4/2006	Outlook Express 用の累積的なセキュリティ アップデート
MS06-015、KB 908531	重要	4/2006	Windows エクスプローラの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-014、KB 911562	緊急	4/2006	Microsoft Data Access Components(MDAC) の機能の脆弱性により、コードが実行される可能性がある (SQL Server 2000 SP 4 または MSDE 2000 SP 4 をインストールし、MDAC のバージョンを 2.8 SP 1 へアップデートする必要があります)
MS06-002、KB 908519	緊急	1/2006	埋め込み Web フォントの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-001、KB 912919	緊急	1/2006	Graphics Rendering Engine の脆弱性により、コードが実行される可能性がある
MS05-055、KB 908523	重要	12/2005	Windows カーネルの脆弱性により、特権が昇格される
MS05-053、KB 896424	緊急	11/2005	Graphics Rendering Engine の脆弱性により、コードが実行される可能性がある
MS05-050、KB 904706	緊急	10/2005	DirectShow の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-049、KB 900725	重要	10/2005	Windows シェルの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-048、KB 907245	重要	10/2005	Microsoft Collaboration Data Objects の脆弱性により、リモートでコードが実行される

表2 Windows 2000 SP 4 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合の推奨アップデート (続き)

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトルと Cisco Unity に対する影響
MS05-047、KB 905749	重要	10/2005	プラグアンドプレイの脆弱性により、リモートでコードが実行され、ローカルで特権の昇格が行なわれる
MS05-046、KB 899589	重要	10/2005	NetWare 用クライアント サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-045、KB 905414	警告	10/2005	ネットワーク接続マネージャの脆弱性により、サービス拒否が起こる
MS05-043、KB 896423	緊急	8/2005	印刷スプーラの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-042、KB 899587	警告	8/2005	Kerberos の脆弱性により、サービス拒否、情報の漏えいおよびなりすましが行われる
MS05-041、KB 899591	警告	8/2005	リモート デスクトップ プロトコルの脆弱性により、サービス拒否が起こる
MS05-040、KB 893756	重要	8/2005	テレフォニー サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-039、KB 899588	緊急	8/2005	プラグアンドプレイの脆弱性により、リモートでコードが実行され、特権の昇格が行なわれる
MS05-036、KB 901214	緊急	7/2005	マイクロソフト カラー管理モジュールの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-032、KB 890046	警告	6/2005	Microsoft エージェントの脆弱性により、なりすましが行われる
MS05-027、KB 896422	緊急	6/2005	サーバ メッセージ ブロックの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-026、KB 896358	緊急	6/2005	HTML ヘルプの脆弱性により、リモートでコードが実行される
KB 891861	なし	6/2005	Windows 2000 Service Pack 4 対応の更新プログラム ロールアップ 1 と既知の問題
MS04-036、KB 883935	緊急	10/2004	NNTP の脆弱性により、コードが実行される
KB 867460	なし	8/2004	Microsoft .NET Framework 1.1 Service Pack 1 Cisco Unity 4.0(3) 以降では、Microsoft .NET Framework 1.1 は Windows 2000 Server が動作している Cisco Unity サーバ上の Cisco Unity システム チェック アシスタントによって自動的にインストールされます。それ以前のバージョンの Cisco Unity では、.NET Framework はインストールされていませんでした。

表 2 Windows 2000 SP 4 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合の推奨アップデート (続き)

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトルと Cisco Unity に対する影響
MS04-013、KB 837009	緊急	4/2004	<p><i>Outlook Express 用の累積的なセキュリティ アップデート</i></p> <p>Outlook Express と Internet Explorer (IE) は同時にインストールされるため、バージョン番号が一致する。次のとおりに、適切なバージョンのアップデートをインストールする。</p> <ul style="list-style-type: none"> IE 5.5 Service Pack 2 または IE 6 (サービス パックなし) の場合は、Q837009.exe をインストールする。 IE 6 Service Pack 1 の場合は、OE6.0sp1-KB837009-x86-JPN.exe をインストールする。
MS04-003、KB 832483	重要	1/2004	<p>Cisco Unity Global Subscriber Manager (GSM)、SQL Server 2000 Enterprise Manager、および SQL Server 2000 トラブルシューティング用ツールを使用するお客様に影響を与える。</p> <p> (注) Cisco Unity サーバ以外のサーバから GSM を使用している場合、そのサーバにも MS04-003 をインストールする必要があります。</p>

推奨される SQL Server 2000 Service Pack 4 アップデート : なし

該当するアップデートなし

推奨される MSDE 2000 Service Pack 4 アップデート : なし

該当するアップデートなし

推奨される Exchange Server 2003 Service Pack 2 アップデート

Exchange 管理ソフトウェアをアップデートするために、パートナー Exchange サーバ、Cisco Unity ユーザがホームとするすべての Exchange サーバ、およびすべての Cisco Unity サーバに Exchange 2003 Service Pack 2 アップデートをインストールしてください。Cisco Unity フェールオーバー構成の場合、対象にはプライマリ サーバとセカンダリ サーバの両方が含まれます。


アップデートは Microsoft Updates for Cisco Unity Software Download ページ (http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity_msft_updates) で入手できます。

推奨される Exchange 2000 Server Service Pack 3 アップデート

Exchange または Exchange 管理ソフトウェアをアップデートするために、パートナー Exchange サーバ、Cisco Unity ユーザがホームとするすべての Exchange サーバ、およびすべての Cisco Unity サーバに Exchange 2000 Service Pack 3 アップデートをインストールしてください。Cisco Unity フェールオーバー構成の場合、対象にはプライマリ サーバとセカンダリ サーバの両方が含まれます。

アップデートは Microsoft Updates for Cisco Unity Software Download ページ (http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity_msft_updates) で入手できます。

表3 Exchange 2000 SP 3 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合の推奨アップデート

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトル
MS06-029、KB 912442	重要	6/2006	Outlook Web Access を実行する Microsoft Exchange Server の脆弱性により、スクリプトインジェクションが起こる
MS06-019、KB 916803	緊急	5/2006	Microsoft Exchange の脆弱性により、リモートでコードが実行される  注意 MS06-019 のインストール後、ユーザの Active Directory アカウントが 1 つまたは複数の管理グループにある場合、Cisco Unity がユーザにボイスメッセージを送信できないおそれがあります。回避方法については、『Unity for Exchange Cannot Deliver Messages to Some Subscribers After MS06-019 is Installed』を参照してください。このテクニカルノートは、 http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/rod_tech_notes_list.html から入手できます。
MS06-003、KB 902412	緊急	1/2006	Microsoft Outlook および Microsoft Exchange の TNEF デコードの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-021、KB 894549	緊急	4/2005	Exchange Server の脆弱性により、リモートでコードが実行される
Exchange 2000 Server Service Pack 3 以降の更新プログラムのロールアップ、KB 870540	なし	8/2004	2004 年 8 月公開の Exchange 2000 Server Service Pack 3 以降の更新プログラムのロールアップ
MS03-046、KB 829436	緊急	10/2003	Exchange Server の脆弱性により、任意のコードが実行される

推奨される Exchange Server 5.5 Service Pack 4 アップデート

Exchange 管理ソフトウェアをアップデートするために、パートナー Exchange サーバ、Cisco Unity ユーザがホームとするすべての Exchange サーバ、およびすべての Cisco Unity サーバに Exchange 5.5 Service Pack 4 アップデートをインストールしてください。Cisco Unity フェールオーバー構成の場合、対象にはプライマリサーバとセカンダリサーバの両方が含まれます。

アップデートは Microsoft Updates for Cisco Unity Software Download ページ (http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity_msft_updates) で入手できます。

表4 Exchange 5.5 SP 4 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合の推奨アップデート

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトル
MS06-003、KB 902412	緊急	1/2006	Microsoft Outlook および Microsoft Exchange の TNEF デコードの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-029、KB 895179	重要	6/2005	Exchange Server 5.5 の Outlook Web Access の脆弱性により、クロスサイトスクリプティング攻撃が行われる
MS04-026、KB 842436	警告	8/2004	Exchange Server 5.5 Outlook Web Access の脆弱性により、クロスサイトスクリプティングと詐称による攻撃が実行される
MS03-046、KB 829436	緊急	10/2003	Exchange Server の脆弱性により、任意のコードが実行される

推奨される Internet Explorer 6 for Windows Server 2003 Service Pack 1 アップデート

すべての Cisco Unity サーバに Internet Explorer 6 アップデートをインストールしてください。Cisco Unity フェールオーバー構成の場合、対象にはプライマリサーバとセカンダリサーバの両方が含まれます。

アップデートは Microsoft Updates for Cisco Unity Software Download ページ (http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity_msft_updates) で入手できます。

表 5 IE 6 for Windows 2003 SP 1 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合の推奨アップデート

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトル
MS06-042、KB 918899	緊急	8/2006	<i>Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム</i>
KB 870669	なし	7/2004	<i>Internet Explorer で ADODB.Stream オブジェクトを無効にする方法(ADODB.Stream はアップデート時に自動的に無効になるため、Knowledge Base 記事の手順に従って作業する必要はありません)</i>

推奨される Internet Explorer 6 Service Pack 1 for Windows 2000 Server Service Pack 4 アップデート

すべての Cisco Unity サーバに Internet Explorer 6 Service Pack 1 アップデートをインストールしてください。Cisco Unity フェールオーバー構成の場合、対象にはプライマリサーバとセカンダリサーバの両方が含まれます。

アップデートは Microsoft Updates for Cisco Unity Software Download ページ (http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity_msft_updates) で入手できます。

表 6 Cisco Unity サーバに IE 6 SP 1 for Windows 2000 SP 4 がインストールされている場合の推奨アップデート

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトル
MS06-042、KB 918899	緊急	8/2006	<i>Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム</i>
MS06-022、KB 918439	緊急	6/2006	<i>ART の画像表示の脆弱性により、リモートでコードが実行される</i>
MS05-044、KB 905495	警告	10/2005	<i>Windows FTP クライアントの脆弱性により、ファイルの転送場所が改ざんされる</i>
MS05-014、KB 867282	緊急	2/2005	<i>Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム</i>
MS04-028、KB 833989	緊急	12/2004 (9/2004 に最初のリリース、12/2004 にアップデート)	<i>JPEG 処理 (GDI+) のバッファオーバーランにより、コードが実行される</i>
KB 871260 (Windows 2000 の場合は、KB 867801 と、KB 832894 以降にリリースされたすべての IE ホットフィックスを含む)	なし	8/2004	<i>Internet Explorer 5.x および 6.0 の更新プログラムのロールアップ</i>
KB 870669	なし	7/2004	<i>Internet Explorer で ADODB.Stream オブジェクトを無効にする方法(ADODB.Stream はアップデート時に自動的に無効になるため、Knowledge Base 記事の手順に従って作業する必要はありません)</i>

推奨される Internet Explorer 5.5 Service Pack 2 アップデート (Cisco Unity 3.x のみ)

すべての Cisco Unity 3.x サーバに Internet Explorer 5.5 Service Pack 2 アップデートをインストールしてください。Cisco Unity フェールオーバー構成の場合、対象にはプライマリサーバとセカンダリサーバの両方が含まれます。

アップデートは Microsoft Updates for Cisco Unity Software Download ページ (http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity_msft_updates) で入手できます。

表 7 IE 5.5 SP 2 が Cisco Unity 3.x サーバにインストールされている場合の推奨アップデート

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトル
KB 871260 (Windows 2000 の場合は、KB 867801 と、KB 832894 以降にリリースされたすべての IE ホットフィックスを含む)	なし	8/2004	<i>Internet Explorer 5.x および 6.0 の更新プログラムのロールアップ</i>
KB 870669	なし	7/2004	<i>Internet Explorer で ADODB.Stream オブジェクトを無効にする方法 (ADODB.Stream はアップデート時に自動的に無効になるため、Knowledge Base 記事の手順に従って作業する必要はありません)</i>
MS04-004、KB 832894	緊急	4/2004	<i>Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム</i>

Cisco Unity 4.0(3) 以前の再インストール

Cisco Unity セットアッププログラムでは、Cisco Unity サーバにインストールされている Microsoft サービスパックのバージョンと、場合によっては Microsoft アップデートのバージョンを確認します。サービスパックとアップデートが最小限のレベルを満たさないと、セットアップは先に進みません。

Cisco Unity バージョン 4.0(3) 以前の一部のバージョンでは、確認する際に最小限の要件を満たす後続のサービスパックを認識しません。つまり、後続のサービスパックを Cisco Unity サーバにインストールすると、Cisco Unity セットアップは失敗します。

Cisco Unity 4.0(3) 以前を使用して Cisco Unity システムを再インストールしている場合、インストールする Cisco Unity のバージョンに対応した『Cisco Unity インストレーションガイド』に従って、すべてのソフトウェアをインストールします。『Cisco Unity インストレーションガイド』に示されたサービスパックとアップデートだけをインストールしてください。Cisco Unity を含むすべてのソフトウェアの再インストールが完了した後で、P.2 の「Cisco Unity に対する推奨サービスパック」および P.4 の「Cisco Unity に対する推奨アップデート」に示されたサービスパックとアップデートをインストールします。

この問題は、Cisco Unity 4.0(4) で解決されました。

パート 2: Cisco Unity Bridge に対するサービス パックとアップデート

- [Cisco Unity Bridge に対する推奨サービス パック \(P. 13 \)](#)
- [Cisco Unity Bridge に対する推奨アップデート \(P. 14 \)](#)
- [パート 1 : Cisco Unity に対するサービス パックとアップデート \(P. 2 \)](#)



(注) Cisco Unity Bridge は、日本ではサポートの対象外です。

Cisco Unity Bridge に対する推奨サービス パック

サービス パックは、関連するコンポーネント ソフトウェアを Cisco Unity Bridge サーバにインストールする際にインストールしてください。この項にまだ記載されていない新しいサービス パックはサポート対象外であり、インストールすると Bridge の機能性に影響を与えるため、インストールすべきではありません。

Microsoft の Web サイトでは、次の推奨サービス パックを入手できます。

- Windows Server 2003 Service Pack 1
- Windows 2000 Server Service Pack 4
- Internet Explorer 6 Service Pack 1
- MSXML 3.0 Service Pack 1 (Bridge バージョン 2.1(x) または 2.0(x) では推奨しません)



(注) サービス パックおよびアップデートに関する Cisco Unity のサポート ポリシーについては、該当するバージョンの関連ドキュメントを参照してください。

- Cisco Unity 4.2 以降 : 『Cisco Unity でサポートされるハードウェアとソフトウェアおよびサポート ポリシー』
- Cisco Unity 4.1 および 4.0(x) : 『Cisco Unity システム要件およびサポートされるハードウェア、ソフトウェア、サポート ポリシー』

Cisco Unity Bridge に対する推奨アップデート

アップデートは、関連するコンポーネント ソフトウェアを Bridge サーバにインストールする際にインストールしてください。アップデートはすべて、Bridge サーバに現在インストールされているサービスパックと互換性がある限り、リリースと同時にサポートされます。

推奨アップデートを含むファイルは Microsoft Updates for Cisco Unity Software Download ページ (http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity_msft_updates) で入手できます。

アプリケーションおよびサービスパック別に、次の推奨アップデートがあります。

- 推奨される Windows Server 2003 Service Pack 1 アップデート (P. 14)
- 推奨される Windows 2000 Server Service Pack 4 アップデート (P. 16)
- 推奨される Internet Explorer 6 for Windows Server 2003 Service Pack 1 アップデート (P. 18)
- 推奨される Internet Explorer 6 Service Pack 1 for Windows 2000 Server Service Pack 4 アップデート (P. 19)



(注) サービスパックおよびアップデートに関する Cisco Unity のサポートポリシーについては、該当するバージョンの関連ドキュメントを参照してください。

- Cisco Unity 4.2 以降: 『Cisco Unity でサポートされるハードウェアとソフトウェアおよびサポートポリシー』
- Cisco Unity 4.1 および 4.0(x): 『Cisco Unity システム要件およびサポートされるハードウェア、ソフトウェア、サポートポリシー』

推奨される Windows Server 2003 Service Pack 1 アップデート

すべての Bridge サーバに Windows 2003 Service Pack 1 アップデートをインストールしてください。

アップデートは Microsoft Updates for Cisco Unity Software Download ページ (http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity_msft_updates) で入手できます。

表 8 Windows 2003 SP 1 が Bridge サーバにインストールされている場合の推奨アップデート

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトルと Bridge に対する影響
MS06-051、KB 917422	緊急	8/2006	Windows カーネルの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-050、KB 920670	重要	8/2006	Microsoft Windows ハイパーリンク オブジェクトライブラリの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-046、KB 922616	緊急	8/2006	HTML ヘルプの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-045、KB 921398	重要	8/2006	Windows エクスプローラの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-043、KB 920214	緊急	8/2006	Microsoft Windows の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-041、KB 920683	緊急	8/2006	DNS 解決の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-040、KB 921883	緊急	8/2006	Server サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-036、KB 914388	緊急	7/2006	DHCP クライアント サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-035、KB 917159	緊急	7/2006	Server サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される

表 8 Windows 2003 SP 1 が Bridge サーバにインストールされている場合の推奨アップデート (続き)

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトルと Bridge に対する影響
MS06-034、KB 917537	重要	7/2006	Active Server Pages を使用した Microsoft Internet Information Services の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-033、KB 917283	重要	7/2006	ASP.NET の脆弱性により、情報漏えいが起こる
MS06-032、KB 917953	重要	6/2006	TCP/IP の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-030、KB 914389	重要	6/2006	サーバメッセージブロックの脆弱性により、特権が昇格される
MS06-025、KB 911280	緊急	6/2006	ルーティングとリモート アクセスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-024、KB 917734	緊急	6/2006	Windows Media Player の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-023、KB 917344	緊急	6/2006	Microsoft JScript の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-022、KB 918439	緊急	6/2006	ART の画像表示の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-016、KB 911567	重要	4/2006	Outlook Express 用の累積的なセキュリティ アップデート
MS06-015、KB 908531	重要	4/2006	Windows エクスプローラの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-014、KB 911562	緊急	4/2006	Microsoft Data Access Components (MDAC) の機能の脆弱性により、コードが実行される可能性がある
MS06-009、KB 901190	重要	2/2006	韓国語版 Input Method Editor の脆弱性により、特権が昇格される (韓国語版 Input Method Editor がインストールされている場合のみ必要)
MS06-008、KB 911927	重要	2/2006	Web Client サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-002、KB 908519	緊急	1/2006	埋め込み Web フォントの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-001、KB 912919	緊急	1/2006	Graphics Rendering Engine の脆弱性により、コードが実行される可能性がある
MS05-053、KB 896424	緊急	11/2005	Graphics Rendering Engine の脆弱性により、コードが実行される可能性がある
MS05-051、KB 902400	緊急	10/2005	MSDTC および COM+ の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-050、KB 904706	緊急	10/2005	DirectShow の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-049、KB 900725	重要	10/2005	Windows シェルの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-048、KB 907245	重要	10/2005	Microsoft Collaboration Data Objects の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-046、KB 899589	重要	10/2005	NetWare 用クライアント サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-045、KB 905414	警告	10/2005	ネットワーク接続マネージャの脆弱性により、サービス拒否が起こる
MS05-042、KB 899587	警告	8/2005	Kerberos の脆弱性により、サービス拒否、情報の漏えいおよびなりすましが行われる
MS05-041、KB 899591	警告	8/2005	リモート デスクトップ プロトコルの脆弱性により、サービス拒否が起こる

表 8 Windows 2003 SP 1 が Bridge サーバにインストールされている場合の推奨アップデート (続き)

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトルと Bridge に対する影響
MS05-040、KB 893756	重要	8/2005	テレフォニー サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-039、KB 899588	緊急	8/2005	プラグアンドプレイの脆弱性により、リモートでコードが実行され、特権の昇格が行なわれる
MS05-036、KB 901214	緊急	7/2005	マイクロソフト カラー管理モジュールの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-032、KB 890046	警告	6/2005	Microsoft エージェントの脆弱性により、なりすましが行われる
MS05-026、KB 896358	緊急	6/2005	HTML ヘルプの脆弱性により、リモートでコードが実行される

推奨される Windows 2000 Server Service Pack 4 アップデート

すべての Bridge サーバに Windows 2000 Service Pack 4 アップデートをインストールしてください。

アップデートは Microsoft Updates for Cisco Unity Software Download ページ (http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity_msft_updates) で入手できます。


表 9 Windows 2000 SP 4 が Bridge サーバにインストールされている場合の推奨アップデート

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトルと Bridge に対する影響
MS06-051、KB 917422	緊急	8/2006	Windows カーネルの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-050、KB 920670	重要	8/2006	Microsoft Windows ハイパーリンク オブジェクト ライブラリの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-049、KB 920958	重要	8/2006	Windows カーネルの脆弱性により、特権が昇格される
MS06-046、KB 922616	緊急	8/2006	HTML ヘルプの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-045、KB 921398	重要	8/2006	Windows エクスプローラの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-044、KB 917008	緊急	8/2006	Microsoft 管理コンソールの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-041、KB 920683	緊急	8/2006	DNS 解決の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-040、KB 921883	緊急	8/2006	Server サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-004、KB 887219	重要	Re-released 8/2006	ASP.NET パス検証の脆弱性 (.NET Framework Service Pack 1 がインストールされているかどうかによって、バージョンが異なることに注意してください。このサービス パックがインストールされている場合は、次のレジストリ キーが存在します。 HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Microsoft\Updates\NETFramework\1.1\867460)
MS06-036、KB 914388	緊急	7/2006	DHCP クライアント サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-035、KB 917159	緊急	7/2006	Server サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-034、KB 917537	重要	7/2006	Active Server Pages を使用した Microsoft Internet Information Services の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-033、KB 917283	重要	7/2006	ASP.NET の脆弱性により、情報漏えいが起こる

表9 Windows 2000 SP 4 が Bridge サーバにインストールされている場合の推奨アップデート (続き)

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトルと Bridge に対する影響
MS06-032、KB 917953	重要	6/2006	TCP/IP の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-031、KB 917736	警告	6/2006	RPC の相互認証の脆弱性により、なりすましが行なわれる
MS06-030、KB 914389	重要	6/2006	サーバメッセージブロックの脆弱性により、特権が昇格される
MS06-025、KB 911280	緊急	6/2006	ルーティングとリモート アクセスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-023、KB 917344	緊急	6/2006	Microsoft JScript の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-018、KB 913580	警告	5/2006	Microsoft Distributed Transaction Coordinator の脆弱性により、サービス拒否が起こる
MS06-016、KB 911567	重要	4/2006	Outlook Express 用の累積的なセキュリティ アップデート
MS06-015、KB 908531	重要	4/2006	Windows エクスプローラの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-014、KB 911562	緊急	4/2006	Microsoft Data Access Components(MDAC) の機能の脆弱性により、コードが実行される可能性がある (SQL Server 2000 SP 4 または MSDE 2000 SP 4 をインストールし、MDAC のバージョンを 2.8 SP 1 へアップデートする必要があります)
MS06-002、KB 908519	緊急	1/2006	埋め込み Web フォントの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS06-001、KB 912919	緊急	1/2006	Graphics Rendering Engine の脆弱性により、コードが実行される可能性がある
MS05-055、KB 908523	重要	12/2005	Windows カーネルの脆弱性により、特権が昇格される
MS05-053、KB 896424	緊急	11/2005	Graphics Rendering Engine の脆弱性により、コードが実行される可能性がある
MS05-050、KB 904706	緊急	10/2005	DirectShow の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-049、KB 900725	重要	10/2005	Windows シェルの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-048、KB 907245	重要	10/2005	Microsoft Collaboration Data Objects の脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-047、KB 905749	重要	10/2005	プラグアンドプレイの脆弱性により、リモートでコードが実行され、ローカルで特権の昇格が行なわれる
MS05-046、KB 899589	重要	10/2005	NetWare 用クライアント サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-045、KB 905414	警告	10/2005	ネットワーク接続マネージャの脆弱性により、サービス拒否が起こる
MS05-043、KB 896423	緊急	8/2005	印刷スプーラの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-042、KB 899587	警告	8/2005	Kerberos の脆弱性により、サービス拒否、情報の漏えいおよびなりすましが行われる
MS05-041、KB 899591	警告	8/2005	リモート デスクトップ プロトコルの脆弱性により、サービス拒否が起こる
MS05-040、KB 893756	重要	8/2005	テレフォニー サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-039、KB 899588	緊急	8/2005	プラグアンドプレイの脆弱性により、リモートでコードが実行され、特権の昇格が行なわれる

表 9 Windows 2000 SP 4 が Bridge サーバにインストールされている場合の推奨アップデート (続き)

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトルと Bridge に対する影響
MS05-036、KB 901214	緊急	7/2005	マイクロソフト カラー管理モジュールの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-032、KB 890046	警告	6/2005	Microsoft エージェントの脆弱性により、なりすましが行われる
MS05-027、KB 896422	緊急	6/2005	サーバメッセージブロックの脆弱性により、リモートでコードが実行される
MS05-026、KB 896358	緊急	6/2005	HTML ヘルプの脆弱性により、リモートでコードが実行される
KB 891861	なし	6/2005	Windows 2000 Service Pack 4 対応の更新プログラム ロールアップ 1 と既知の問題
MS04-036、KB 883935	緊急	10/2004	NNTP の脆弱性により、コードが実行される
KB 867460	なし	8/2004	Microsoft .NET Framework 1.1 Service Pack 1 Cisco Unity 4.0(3) 以降では、Microsoft .NET Framework 1.1 は Windows 2000 Server が動作している Cisco Unity サーバ上の Cisco Unity システム チェック アシスタントによって自動的にインストールされます。それ以前のバージョンの Cisco Unity では、.NET Framework はインストールされていませんでした。
MS04-013、KB 837009	緊急	4/2004	Outlook Express 用の累積的なセキュリティ アップデート Outlook Express と Internet Explorer (IE) は同時にインストールされるため、バージョン番号が一致する。次のとおり、適切なバージョンのアップデートをインストールする。 <ul style="list-style-type: none"> IE 5.5 Service Pack 2 または IE 6 (サービス パックなし) の場合は、Q837009.exe をインストールする。 IE 6 Service Pack 1 の場合は、OE6.0sp1-KB837009-x86-JPN.exe をインストールする。
MS04-003、KB 832483	重要	1/2004	Cisco Unity Global Subscriber Manager (GSM)、SQL Server 2000 Enterprise Manager、および SQL Server 2000 トラブルシューティング用ツールを使用するお客様に影響を与える。  (注) Cisco Unity サーバ以外のサーバから GSM を使用している場合、そのサーバにも MS04-003 をインストールする必要があります。

推奨される Internet Explorer 6 for Windows Server 2003 Service Pack 1 アップデート

すべての Cisco Unity サーバに Internet Explorer 6 アップデートをインストールしてください。Cisco Unity フェールオーバー構成の場合、対象にはプライマリ サーバとセカンダリ サーバの両方が含まれます。

アップデートは Microsoft Updates for Cisco Unity Software Download ページ (http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity_msft_updates) で入手できます。

表 10 IE 6 for Windows 2003 SP 1 が Bridge サーバにインストールされている場合の推奨アップデート

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトル
MS06-042、KB 918899	緊急	8/2006	<i>Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム</i>
KB 870669	なし	7/2004	<i>Internet Explorer で ADODB.Stream オブジェクトを無効にする方法</i> (ADODB.Stream はアップデート時に自動的に無効になるため、Knowledge Base 記事の手順に従って作業する必要はありません)

推奨される Internet Explorer 6 Service Pack 1 for Windows 2000 Server Service Pack 4 アップデート

すべての Bridge サーバに Internet Explorer 6 Service Pack 1 アップデートをインストールしてください。

アップデートは Microsoft Updates for Cisco Unity Software Download ページ (http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity_msft_updates) で入手できます。

表 11 IE 6 SP 1 for Windows 2000 SP 4 が Bridge サーバにインストールされている場合の推奨アップデート

Microsoft アップデート	Microsoft 深刻度	Microsoft によるリリース日	Microsoft ドキュメントのタイトル
MS06-042、KB 918899	緊急	8/2006	<i>Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム</i>
MS06-022、KB 918439	緊急	6/2006	<i>ART の画像表示の脆弱性により、リモートでコードが実行される</i>
MS05-044、KB 905495	警告	10/2005	<i>Windows FTP クライアントの脆弱性により、ファイルの転送場所が改ざんされる</i>
MS05-014、KB 867282	緊急	2/2005	<i>Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム</i>
MS04-028、KB 833989	緊急	12/2004 (9/2004 に最初のリリース、12/2004 にアップデート)	<i>JPEG 処理 (GDI+) のバッファ オーバーランにより、コードが実行される</i>
KB 871260 (Windows 2000 の場合は、KB 867801 と、KB 832894 以降にリリースされたすべての IE ホットフィックスを含む)	なし	8/2004	<i>Internet Explorer 5.x および 6.0 の更新プログラムのロールアップ</i>
KB 870669	なし	7/2004	<i>Internet Explorer で ADODB.Stream オブジェクトを無効にする方法</i> (ADODB.Stream はアップデート時に自動的に無効になるため、Knowledge Base 記事の手順に従って作業する必要はありません)

CCSP, CCVP, the Cisco Square Bridge logo, Follow Me Browsing, and StackWise are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, and iQuick Study are service marks of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, the Networkers logo, Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0601R)

このドキュメントで使用しているインターネット プロトコル (IP) アドレスは、実在のアドレスではありません。ドキュメント中で示される例、コマンドの画面出力、および図は、いずれも視覚的な説明のみを目的としています。実在する IP アドレスが例示されていた場合、それらは意図して使用したものではありません。

Copyright © 2004-2006 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501